



節	対戦相手	H/A	試合結果	談話（コメント）
1	日本製鉄大分	H	○4 - 0	難しい状況の中無事に開幕戦を迎えられたことにリーグ関係者の皆さまにチームを代表して心より感謝を申し上げます。 また沖縄県協会、審判団、海邦銀行SC、沖縄SVの皆様、準備と運営をしていただきありがとうございました。 おかげで素晴らしいピッチと環境で開幕戦をプレーすることができました。 試合に関しては、前半の早い時間帯に先制することができ、落ち着いてこれまでトレーニングしてきたものを表現することができました。 後半はコントロールを失う時間帯もありましたが、追加点を決め勝ち点3を獲得することができました。 次節の試合のホーム戦へ向けて良い部分は強化し、課題は修正し成長していきたいです。
2	試合なし			
3	熊本県教員蹴友団	H	○7 - 1	立ち上がりから相手が勢いを持って試合に入ってきました。 グラウンド状況など簡単な環境ではなかったのですが、選手たちはクオリティを発揮して準備してきたこと表現してくれました。 良かった部分と後半に出た課題を全員で共有し、どのメンバーが出て同じ質のサッカーができるように成長し続けていきたいと思えます。 クラブスタッフ、バックアップメンバー、そして多くのボランティアスタッフの尽力により素晴らしい雰囲気の中でホーム開幕戦を戦うことができました。 特にボランティアスタッフは朝早くから試合終了後まで多くの努力をしてくださりました。チームを代表して感謝を伝えたいです。 また都農町の方々への応援に加え、隣のサッカー場でクラブが開催した少年サッカー大会に参加した少年たちの声援が我々の大きな力になりました。 都農町に必要なチームになるという自分達の目的が果たしているのかはわかりませんが、我々はホームのサポーターを必要としています。 次のホーム戦もこのような素晴らしい雰囲気の中で試合ができれば幸いです。
4	川副クラブ	A	○2 - 0	適応することの多い1週間そして試合当日でした。その環境の中で自分達の全力を出すことにチームとしてフォーカスしてきました。 前半は川副クラブさんの組織だった守備の前になかなかチャンスを作れませんでした。焦れずに攻撃を続け1点を取り、後半は多くのチャンスを作ることができました。 追加点のチャンスを決め切れずに最後まで心理的に難しい試合でしたが、選手たちはその中で集中力を切らさずに90分間戦ってくれました。 各試合それぞれに難しさがありますが、良い準備をして全力を尽くしていくことを続けていきたいです。 試合運営をして頂いた川副クラブ、ボールパーソン、審判団の皆様ありがとうございました。
5	海邦銀行SC	H	○6 - 0	90分通じて自分達が何を目標しているのか、どうプレーするのかを表現することができた試合でした。 勝利の後こそ自分達の成長に目を向け、良かった部分は強調し、課題は修正して来週はより良いプレーができるようにトレーニングに臨みたいです。 ホーム2戦目も晴天に恵まれ素晴らしい雰囲気の中で試合をすることができました。運営を支えてくれた地域のボランティアスタッフ、アカデミーのスタッフと選手たちの尽力に感謝しています。 またサポーターの皆様、西児湯郡リトルリーグに参加し、応援に駆けつけてくれたサッカー少年たち、そして海邦銀行SCの皆様、審判団の皆様ありがとうございました。
6	KMGホールディングFC	A	○4 - 0	前半から良い内容で得点も重ねることができました。 後半は相手のプレッシングや鋭いカウンターを受けてしまう場面もありましたが、焦れずにゲームをコントロールできたと思います。 次週は宮崎県の天皇杯予選がなくなってしまい公式戦がないのですが、質の高いトレーニングを行い、良い部分は強調し、課題は修正して全員で成長していきたいです。 対戦いただきましたKMGホールディングスの皆さま、そして運営をしていただいた皆さまありがとうございました。
7	BrewKASHIMA	H	○4 - 0	結果は4 - 0でしたが、課題の出たゲーム内容でした。基本的なことを見直して、課題を一つ一つ修正し、近道のない道を全員で進んでいきたいと思えます。 本日も素晴らしい雰囲気のもとでプレーすることができました。運営スタッフ、ボランティアスタッフに感謝いたします。 またBrewKASHIMAとそのサポーターの皆様、審判団の皆様、ありがとうございました。

節	対戦相手	H/A	試合結果	談話 (コメント)
8	NIFS KANOYA FC	A	○6 - 1	難しい時間帯もありましたが、落ち着いて粘り強くやるべきプレーを表現し続けチャンスと得点の数を重ねることができたと思います。改善点は改善し、よく出来ている点はより強調して継続して少しずつ成長していきたいです。雨天にも関わらず素晴らしいグラウンドコンディションでサッカーができたことに感謝しております。対戦いただきましたNIFS KANOYA FCの皆さま、審判団の皆さま、そして運営をしていただいた皆さまありがとうございました。
9	ジェイリースFC	H	○2 - 0	拮抗した展開の中で、クオリティーの高い強敵に対して継続的にチャンスを作れたこととチャンスをほとんど与えなかったことが良かったです。次は2週間あいて連戦です。これまで通り良い準備をして少し成長して次の試合を迎えたいです。本日対戦いただきましたジェイリースFCとそのサポーターの皆さま、審判団の皆さま、宮崎県サッカー協会の皆さま、ありがとうございました。運営に協力していただいたボランティアスタッフの皆さま、アカデミーの皆さま、ありがとうございました。そして会場を盛り上げ、応援してくれたホームサポーターの皆さま、ありがとうございました。
10	FC延岡AGATA	A	△1 - 1	2連戦は1分1敗という厳しい結果に終わりました。FC延岡AGATA戦は、序盤に主導権を握られその時間帯に失点をしました。その後主導権を握り返しチャンスを作っていたのですが1点止まりで引き分けに終わりました。沖縄SV戦は主導権の握り合いの展開の中で手応えを掴んで前半を終えたのですが、後半開始早々失点。その後チームは下を向くことなく良いリアクションをしてゲームを進め、最後は前線の選手の人数を増やして攻撃を試みたのですが、得点することができず敗戦となりました。プレシーズンからここまで、選手全員の情熱を持ってトレーニングと試合に臨む姿勢に感謝しています。
11	沖縄SV	A	●0 - 1	下を向くことなく成長し続け、後期はより良いゲーム内容と結果を目指していきたいです。審判団の皆様、運営に携わっていただいた皆様、佐賀県サッカー協会の皆様、川副クラブの皆様、Brew KASHIMAの皆様、ありがとうございました。そして遠方まで応援に駆けつけていただいたサポーターの皆様、非常に心強い応援ありがとうございました。
12	日本製鉄大分	A	○1 - 0	良い入りからチャンスを継続的に作ることができた前半でしたが、後半はチャンス数が少なくなってしまいました。ポジショニングのバリエーションを持って攻撃することができていますが、だからこそ抑えるべき基本のポジショニングが疎かになってしまっていた場面が目立ちました。また引いた相手に対しては、判断とパススピードを上げて相手を動かしながら、スピードアップするチャンスを逃さないことが重要です。
13	試合なし			我々の根本の部分を見直しながら攻撃力を積み上げていけるようにこの試合で出た課題を克服し成長していきたいです。対戦して頂きました日本製鉄大分の皆様、当日会場を運営して頂いた皆様、ありがとうございました。
14	熊本県教員蹴友団	A	○5 - 0	引いてスペースを消す相手に対して、チームは素早くボールを動かしスペースを突くこととタイミング良く人数を掛けること、そしてカウンターを管理することを意識してプレーしました。前半から継続的にチャンスを作り相手ゴールを脅かすことができました。運営をしていただいた熊本県教員蹴友団の皆さま、審判団の皆さまありがとうございました。また都農からファン、サポーターの皆さまが応援に来ていただいたことに感謝しております。この場をお借りしてお礼申し上げます。
15	川副クラブ	H	○4 - 0	リズム良くボールを動かし1試合通じて継続的にチャンスを作ることができました。ゴール前のシュートの精度と、試合が進むにつれて疲れからトランジションでの強度が落ちてしまったことが課題です。良かった点はさらに強調し、出た課題を修正して日々成長していきたいです。試合運営に協力していただいた日向高校の皆さま、ボランティアスタッフの皆さま、審判団の皆さま、ありがとうございました。
16	海邦銀行SC	A	○5 - 0	リズム良くボールを動かし1試合通じて継続的にチャンスを作ることができました。ゴール前のシュートの精度と、試合が進むにつれて疲れからトランジションでの強度が落ちてしまったことが課題です。良かった点はさらに強調し、出た課題を修正して日々成長していきたいです。試合運営に協力していただいた日向高校の皆さま、ボランティアスタッフの皆さま、審判団の皆さま、ありがとうございました。

節	対戦相手	H/A	試合結果	談話（コメント）
17	KMGホーレンディングFC	H	△2 - 2	先行を許すメンタルの部分で難しい展開の中で、24本のシュートといくつものチャンスを活かせず非常に痛い引き分けになりました。さまざまな要因から難しいチーム事情の中、それを乗り越えて勝つことでチーム全体で成長していることを示したかったのですが、悔しい結果になりました。この悔しさを糧にして、我々の目標を掴み取るために1日1日を大切に積み重ねて全員で成長していきます。審判団の皆様、宮崎県サッカー協会の皆様、そしてボランティアスタッフならびに高鍋高校サッカー部の皆様ありがとうございました。サポーターの皆様、酷暑・雨・雷など悪天候の中最後までチームを後押ししていただきありがとうございました。
18	BrewKASHIMA	A	○6 - 0	立ち上がりから1試合通じてグループの集中力を保ち、高いパフォーマンスを発揮できたと思います。今日のパフォーマンスをチームの基準にして今後も自分達自身に強く要求していきます。先週の悔しい結果を謙虚に受け止め行動に移してくれた選手たちに感謝しています。BrewKASHIMAの皆様、審判団の皆様、運営に携わっていただいた皆様ありがとうございました。アウエーの地まで足を運びサポートしていただいたファン・サポーターの皆様、ありがとうございました。
19	NIFS KANOYA FC	H	○3 - 0	難しい試合でしたが、チャンスをものにして勝利を掴むことができました。相手が戦い方を変化させてきても、チームの目指すプレーを表現するための個人技術・戦術の大切さを感じた試合でした。今回出た課題をトレーニングから見直し、継続して成長していきたいです。対戦していただいたNIFS KANOYA FCの皆様、ありがとうございました。そして試合運営に関わっていただいた皆様ありがとうございました。今節はホーム最終戦でした。都農町の皆様が集まり1つになって、応援していただけるチームを目指し今シーズンも活動してきました。とても良い雰囲気の中でホームの7試合を戦うことができ感謝しています。今シーズン残り試合もチームの後押しをよろしくお願いいたします。
20	ジェイリースFC	A	○2 - 1	相手にペースの握られた立ち上がりに先制点を許し難しいゲームになりました。しかし、そこから選手たちは落ち着いてペースを握り返し、強いメンタリティを示し逆転勝利を掴んでくれました。ベンチから見ていて頼もしかったです。またこれまで出場機会の限られていた選手たちが良い準備を続けてきたことが、怪我人や出場停止選手がいる状況で強敵に勝利できたことに繋がったのだと思います。ただ逆転した後の試合運びには課題が残りましたし、素晴らしい相手とプレーすることによって見えた修正点もあります。この試合をまた自分たちの成長につなげていきたいです。ジェイリースFCの皆さま、審判団の皆さま、運営して下さった皆さま、ありがとうございました。またアウエーの会場まで駆けつけてチームを後押ししていただいたサポーターの皆さま、ありがとうございました。